

# バックアップ拠点構想－骨子(概要版)－

北海道総合政策部計画推進局

## I 趣旨

- 東日本大震災を契機に「大規模災害への備え」の大切さが国家的課題として再認識されるとともに、効率性を重視し、企業や工場、行政組織等を過度に集中してきたことによる国土構造の脆弱さが顕在化
- グローバル化が一層進展する中、海外で発生した大規模災害等が我が国に危機をもたらすことを想定した対策も重要な課題
- こうした観点から、今後の大震災等におけるリスク低減に向け、我が国全体で取り組むべきバックアップ体制のあり方とともに、北海道がバックアップ拠点として貢献していくための方向性を提示

## II 我が国全体のバックアップ体制のあり方

### 必要性

東日本大震災を契機に再認識された課題への対応

首都圏、東海、西日本地域等における大震災への備え

国際的な重大リスクへの対応

### めざす方向性

多重・分散型の国土軸の形成

多重・分散型の社会・経済システムを基本とする災害に強い国土軸の形成

代替・補完機能の確保

大災害時などの緊急時における代替・補完機能の確保

推進にあたっての留意点

#### ◆国と地方自治体等の相互連携

国と地方自治体、民間事業者等が相互に連携し、バックアップ体制の構築に必要な取組を推進

#### ◆全国各地域の役割分担と連携

全国各地域の地理的特性や産業面での特色などを踏まえた機能や役割の分担を図るとともに、地域相互の連携を強化

## III 本道におけるバックアップ拠点の形成

### 基本的な考え方

- 我が国全体のバックアップ体制の構築に向けた取組の中で、本道の地域特性や優位性を活かしたバックアップ拠点づくりを進め、持続可能で安全・安心な国民生活や災害に強い国土形成に貢献
- 道自らが主体的に実施することが可能な取組については、これまでの北海道開発の経験や枠組み等を活かすとともに、他都府県や市町村・民間事業者等と連携しながら積極的に推進

### 拠点形成に向けた視点

北海道の優位性を最大限に発揮

本道各地の産業特性や地理的特性を踏まえた拠点整備

既存施設の活用や平常時の有効活用を促進

北海道が担うバックアップ機能

(想定される機能の具体例)

食料・水の安定供給

産業活動の分散化の受け皿

エネルギーの安定供給

生活・居住の場の提供

行政機能の継続支援

被災地への支援体制の構築

(国や市町村とともに進める施策の方向性)

食料の安定供給に向けた生産基盤の強化や食料備蓄・供給体制の充実 等

環境配慮型データセンターなど本道の優位性を活かした企業等の移転・立地の促進 等

再生可能エネルギーの導入やエネルギー利用の効率化を加速するための施策の推進 等

被災者の一時避難や集団移転の受け皿となる場の確保 等

政府情報のバックアップ体制の強化 等

災害時における人的支援や救援物資・医薬品等の備蓄・供給体制の強化 等

- ◆人の受け入れや備蓄に必要な用地確保に加え、物流・交通の利便性や効率性なども考慮し、いくつかのバックアップ機能を一定の地域に集積する複合的な拠点整備について、今後検討を深化
- ◆バックアップ機能を最大限に発揮するために不可欠な社会資本の整備を着実に推進  
(北海道新幹線の整備、空港・港湾の機能強化、道内の交通・情報ネットワークの整備、本州とつなぐ情報基盤の強化等)